

《6年生》

児童のみなさんへ



1 家庭学習について

(1) 国語

① 漢字

漢字ドリルを見て、漢字ノートに練習する。

② 本読み

正確に読んだり、気持ちをこめて読んだり、すらすらと読んだり、めあてを持って練習する。

③ 作文・日記

(2) 算数

今習っている練習問題などをくり返し学習する。

(3) 学習する時間

家では、毎日1時間以上は学習するようにしよう！



自主学习

こんなことをしては……

☆ 算数問題集

☆ 歴史年表まとめ … 歴史上のできごとや人物、文化などを歴史年表にまとめる。

☆ 理科のまとめ … 教科書、ノートを見てまとめる。

☆ 四字熟語や今までに習った漢字の練習、ローマ字やことわざ

2 こんなことに 気をつけよう

★ 自主学习には、目的を持って取り組みましょう！

○苦手なところを克服する

○興味のあることについて調べて深める

○学習したことを定着させる

○「決まった場所で」「決めた時間帯で」「手の届くところに辞典を置いて」取り組みましょう。



3 こんなときには？

(1) わからないときは？

放っておかないで、辞典、教科書、ノートを見て調べましょう。また、その習慣をつけましょう。それでもわからないときは、学校で先生に聞きましょう。

(2) 自主学习ノートの書き方は？

自分なりのまとめ方をしましょう。ただし、見やすく、大切なことばや重要なことには色をつけるなどの工夫もしましょう。

1 特にくり返しが大切な学習

基礎的・基本的な内容を繰り返し学習することで、確かな学力の定着を図ります。特に、国語では漢字やローマ字などの言語事項や言葉のきまり、算数では、分数や小数の計算などの学習が効果的です。毎日の宿題以外には読書や自主学習なども大切になってきます。

2 こんな宿題が出ています（時間は1時間を目安にしています）

(1) ドリル

算数のすでに習った単元の復習、漢字熟語など子どもたちの学習の様子を見て、苦手な内容を中心にしています。

(2) 本読み

習っているところの音読を中心に、正確に読んだり気持ちを込めて読んだり、すらすら読んだり、めあてを持って読むようにしています。

※ 自主学習の内容と量について

自主学習の内容や量については個人によってちがってきますが、自分で課題を見つけ、苦手とするところを自分なりにめあてを持って、取り組むことが大切です。

3 宿題の〇つけやまちがい直しなどについて

漢字の宿題は、教師が点検しています。計算や宿題プリントについては、教師または子どもが〇つけをし、どこでつまずいているのかを教師が点検をしています。その後、まちがい直しをさせています。

まちがえた所をしっかり直すことが、苦手な内容や課題の克服になります。「前はまちがえたけど、今度はできた！」という自信につながるよう、まちがい直しをていねいにさせていただきたいと考えています。また、まちがい直しをしていないときは、声かけをお願いします。

4 お願い

★ 家庭学習時間は、最低でも1時間！

「決まった場所で」「決めた時間帯で」「手の届くところに辞典を置いて」学習させてください。

★ 家庭学習は集中！

ご家族の協力のもと、テレビを消して、落ち着いた雰囲気の中で学習させてください。

★ 家庭学習は自力学習（自学自習）への第一歩！

中学生に向けての準備期間です。自力学習の習慣をしっかり身につけて、中学校へ進学してください。